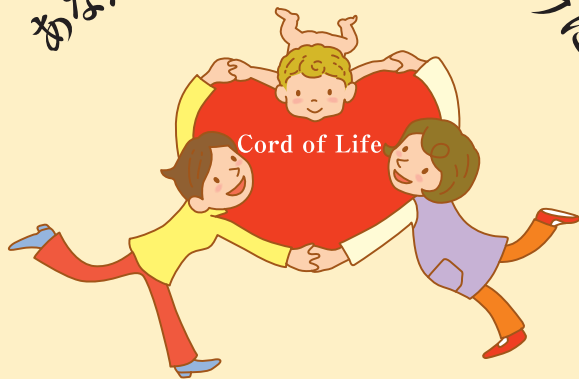


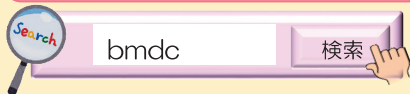
あなたの善意をさい帯血バンクに



全国の公的さい帯血バンク

- ・日本赤十字社北海道さい帯血バンク
- ・日本赤十字社関東甲信越さい帯血バンク
- ・一般社団法人 中部さい帯血バンク
- ・日本赤十字社近畿さい帯血バンク
- ・認定特定非営利活動法人 兵庫さい帯血バンク
- ・日本赤十字社九州さい帯血バンク

さい帯血バンクを
もっと知りたい方はこちら



<http://www.bmdc.jrc.or.jp/>

QRコードを読み取って簡単アクセス!

詳しいお問い合わせは



いのちのきずな

～Cord of Life～

母と子を結ぶ“絆”さい帯＝へその緒
新たな生命の誕生が、もう一つの絆となって生きていきます。

さい帯血を英語で Cord Blood と呼びます



きずなちゃん

さい帯血バンクのシンボルキャラクター

©やなせたかし

さい帯血ってなあに？

母親と赤ちゃんを結ぶさい帯（へその緒）と胎盤のなかに含まれる血液のことです。その中には、骨髄と同様に血液細胞を造り出すもとである「造血幹細胞」がたくさん含まれています。

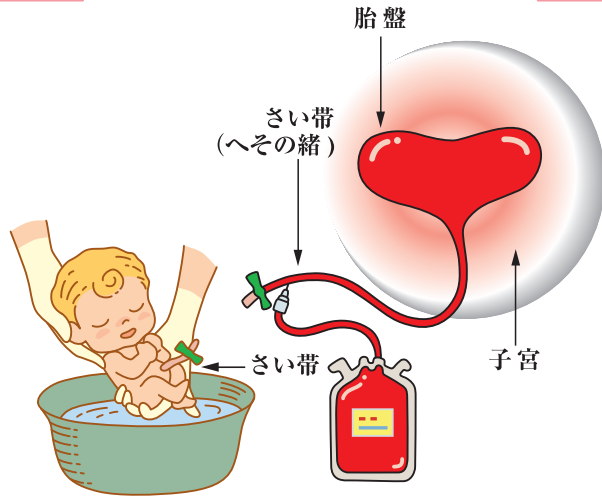


さい帯血バンクが必要です

かつては不治の病といわれた血液のがん・白血病などの重い血液疾患は、今では造血幹細胞移植により、完治も期待できるようになりました。出産時に提供していただいたさい帯血を、このような患者さんに移植して命を救うことができます。そのために、さい帯血の保存と提供を行うのがさい帯血バンクです。



さい帯血の提供・採取について



負担もなく安全です

さい帯血の採取は赤ちゃんの出産後、胎盤側のさい帯に針を刺し、残っている血液を集めます。赤ちゃんはもちろんお母様にもまったく痛みはありません。もちろん分娩の経過にも影響ありません。

プライバシーは守られます

採取したさい帯血はお名前を特定できないように匿名化して保存します。また、問診票などの個人情報 は 厳 重 な 管 理 を し て い ま す 。

提供いただいたさい帯血は、移植を受ける患者さんの安全を確保するため、厳密な基準のもとに保存されたものでなくてはなりません。そこでさい帯血バンクではあらかじめ決められた提携施設（産科病院）でしか採取できないことをご理解ください。

『いのちのきずな』のさい帯血はこうやって誰かのいのちを救います



ご提供から移植までの流れ

1 はじまりは妊娠

妊娠がわかり、受診することになった産科施設は、さい帯血バンクの採取施設でもありました。

2 さい帯血提供の同意

さい帯血バンクの趣旨をよく理解したので、さい帯血提供に協力することにしました。同意書にサインして、あとは健康なお産をするばかりです。

3 出産とさい帯血採取

元気に赤ちゃんが生まれ、母子ともに健康です。すぐにさい帯血も採取されて、十分な量が採れたようです。

4 血液検査そして退院

出産後、感染症等の検査のために、お母さんの血液が採取されて検査が行われます。

5 さい帯血の分離と保存

採取されたさい帯血は、 -196°C の液体窒素の中で保存されます。

6 半年後のアンケート

出産から半年後、赤ちゃんの健康状態をおたずねするアンケートが送られてきますので、ご返送ください。赤ちゃんの健康を確認したら、保存されているさい帯血は正式にさい帯血バンクに登録されます。

さい帯血のご提供をいただいてから、そのさい帯血がさい帯血バンクに登録され、実際に患者さんに移植されるまでの流れを具体的に見てみましょう。

7 患者さんが移植のために検索

白血病などの患者さんが移植するためにHLA型が適合するさい帯血を探します（造血幹細胞適合検索サービス）。

8 さい帯血の申し込み

移植する患者さんの主治医が、適合した（移植する）さい帯血をさい帯血バンクに申し込みました。移植の日程などが組まれます。

9 いよいよ移植

凍結したさい帯血が、そのまま移植病院に運ばれてきました。さい帯血は解凍され、そして静脈から注入されました。移植完了です。

10 生 着

移植されたさい帯血は、2～4週間程度で健康な血液を造りはじめます（生着）。感染予防のため無菌室にいた患者さんも、やがて一般病棟に移ることができました。

11 社会復帰

移植にともなう免疫反応なども克服し、患者さんはめきめきと快復しています。早ければ移植後 2～3 カ月で退院し、間もなく社会復帰できるようになります。

